

# 苧田町 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

令和6年3月

### 4-1) 新たなごみ処理システムの検討

我が国では、市町村の厳しい財政状況やごみ処理施設の老朽化など、ごみの適正処理における課題を解決し、持続可能なごみの適正処理を確保することを目的として、ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化を推進しています。

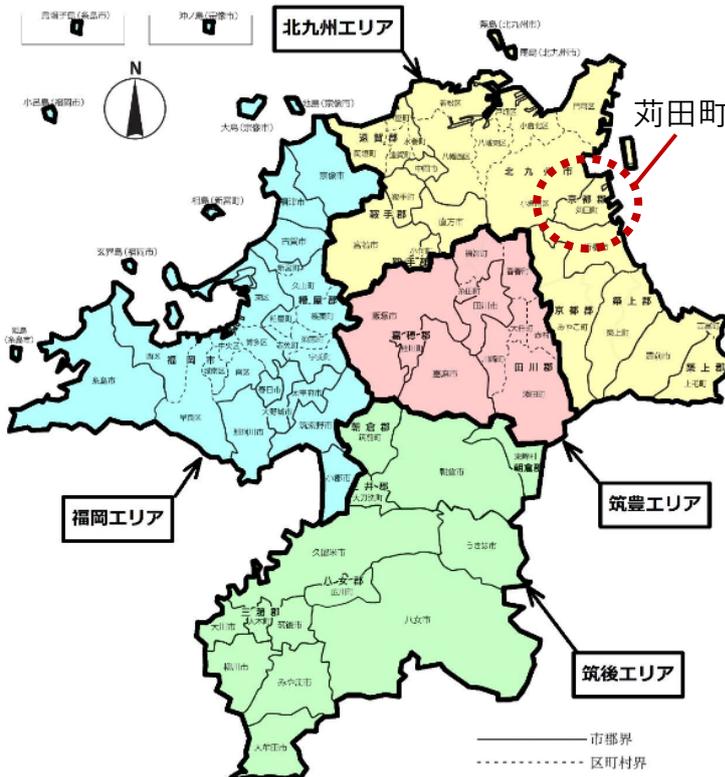
令和2年6月には「広域化・集約化に係る手引き」が策定され、令和3年6月には「地域脱炭素ロードマップ」において、ごみ処理の広域化が主要な政策に位置づけられるなど、積極的な推進方針が示されています。令和5年6月に閣議決定された「廃棄物処理施設整備計画」においても同様に、ごみ処理の広域化・集約化に関する言及があります。

本町でも全国的な傾向と同様にごみ処理施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕だけでなく故障等による突発的な修繕も実施している状況です。大規模改修も検討しましたが、当時RDF化施設を建設した業者がすでに廃業しているなど改修自体が困難な状況です。

ごみの適正処理においては、処理施設の安定した運用は不可欠であり、本町においても国の方針に基づき、ごみ処理の広域化を検討する必要があります。本町のごみ処理の特徴であるRDF化は埋立用地が不要で、石炭の代替燃料を生産できることから、これまで本町での循環型社会形成に大きく貢献してきました。しかしながら、RDF製造において乾燥過程では灯油を使用するなど、温室効果ガスの排出が避けられないといった課題もあります。今後はRDF化にこだわらずにできるだけ早い段階で、ごみ処理の広域化を含めて本町に適した処理システムを検討する必要があります。

ごみ処理の広域化にあたっては、福岡県が設定する「広域化・集約化を検討するエリア」に沿って検討を進める必要があります。本町は「北九州エリア」に属しています。今後は、当エリア内の市町村の動向をふまえて連携を検討するとともに、広域化における課題や条件などについて、調査を行っていきます。

行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の処理システムが抱える課題やごみ処理施設の老朽化を考慮し、ごみ処理の広域化を含め、本町に適した処理システムを検討します。</li> <li>・次期処理システム検討のための勉強会開催、調査研究などの実施を検討します。</li> </ul>
----	--



エリア名	市町村名
北九州 エリア	北九州市、直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、 <b>苅田町</b> 、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町
福岡 エリア	福岡市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町
筑後 エリア	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、うきは市、朝倉市、みやま市、筑前町、東峰村、太刀洗町、大木町、広川町
筑豊 エリア	飯塚市、田川市、嘉麻市、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町

出典) 福岡県ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化計画 (令和4年4月)